



訪問しました!

こうべ男女いきいき事業所

アスピオファーマ株式会社

今回は、平成23年度の「こうべ男女いきいき事業所」の一つに選ばれたアスピオファーマ株式会社を訪ねました。医薬品を研究・開発する企業で、社員の大半が研究職。そこに男女の区別はなく、一人ひとりを支え、伸ばす制度と環境が充実していました。

コーポレートファカルティ 人事・コーポレートコミュニケーションチーフオフィサー 吉田善実さん
コーポレートファカルティ 課長代理 まさしま 牧鳥由紀子さん
薬理第一ファカルティ 吉田明香さん



吉田善実さん、吉田明香さん、牧鳥由紀子さん(左から)

男女の区別なく誰もが活躍できる職場

医療関連の企業が集積するポートアイランドの神戸医療産業都市。その一角にアスピオファーマ株式会社が本社・研究所を建設したのは、2010年のことです。第一三共株式会社を親会社に持つ創薬に特化した企業。約200名の社員のうち約150名が医薬品の研究に携わっています。

人事を統括する吉田善実さんは、「ひとくちに研究と言っても分野はさまざま。社員はそれぞれ専門分野の研究に取り組んでいますから、男性だから女性だからと区別することはありません」と話します。そのうえで、出産や育児、介護など、仕事をセーブせざるをえない状況に直面した社員を会社としてバックアップする独自の制度を整えてきました。

本社近くに他企業と共同で託児所「ポーアイキッズこうべ」を開設したのをはじめ、育児・介護のための短時間勤務制度、子どもの看護休暇制度、ベビーシッター利用の助成制度、子育て中の社員向けSNSの開設など、その内容は多岐にわたります。法律で定められた制度を格段に充実させ、使いやすく工夫しているため、これまでに出産や育児を理由に退職した女性社員はゼロ。また男性社員も複数人が育児休業を取得している。男女共に制度をうまく活用しながら仕事と生活を両立させることは、個々人が能力を発揮し活躍することと同様に同社ではごく自然なことになっているのです。



社屋外観

充実した制度と環境が働きやすさの両輪に

入社6年目の吉田明香さんも、結婚・出産し育児休業を終えて職場に復帰した社員の一人。現在1歳半になるお子さんを「ポーアイキッズこうべ」に預け、子育てと研究の仕事を両立させています。

「託児所が近いので何かあればすぐ駆けつけられますし、育児時間制度を使って授乳にも通えました。「ポーアイキッズこうべ」を利用する社員はマイカー通勤が認められているので通勤ラッシュにあうこともなく助かっています」と吉田さん。周囲も協力的で、今後も、仕事を続けていくことにまったく不安はないといいます。

「もともと社員同士のコミュニケーションが密で、お互いに助け合おうという意識が強い会社。制度が整っていることに加えて、会社の風土としてそれをごく当たり前に見える環境があることが働きやすさにつながっているのだと思います」と人事担当の牧鳥由紀子さんは言います。吉田さんの周辺に関わらず、どのセクションでも普段から仕事の進み具合などを確認し合い連携を取っているため、だれかが急に休むことになってもフォローし合える体制が確立しているそうです。

「制度自体は法律の流れを見ながらこれからも拡充していきます。ただ、いくら良い制度だとしてもそれがあるだけでは意味がありません。活用しやすく、周囲も自然に協力できる今の社内風土こそ、うちの強みとして維持したいと思います」と吉田善実さん。制度と環境・風土の両輪をしっかりと機能させながら、アスピオファーマでは今日も男女がともにいきいきと働いています。